

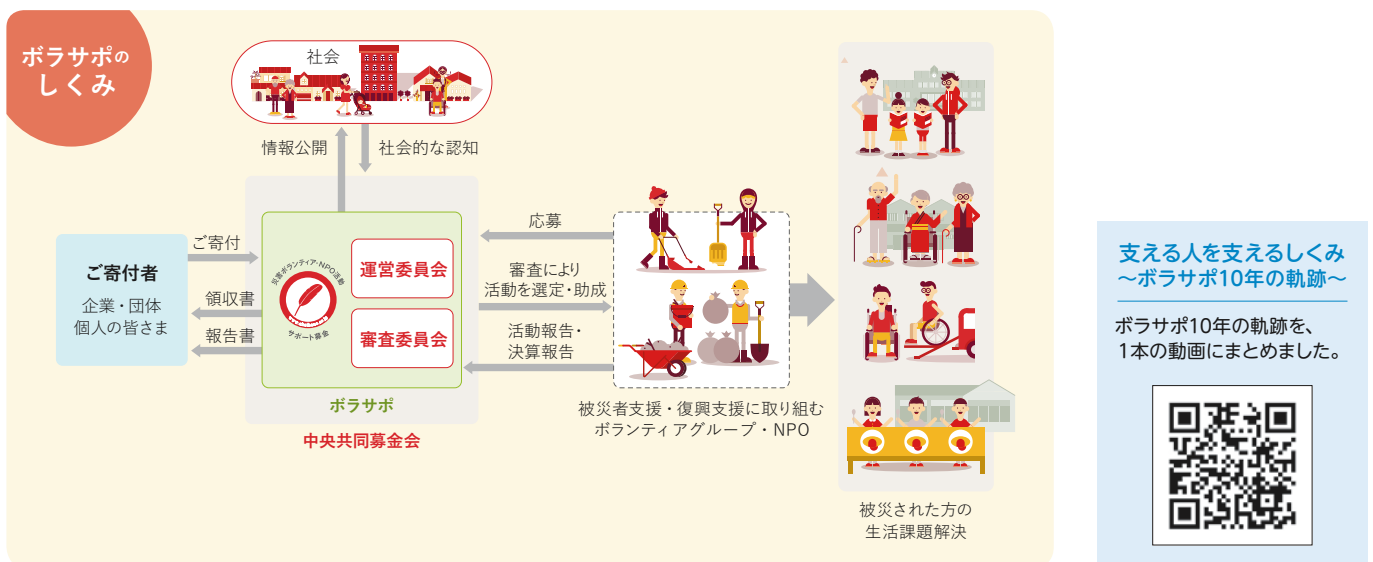
災害対応にかかわる 中央共同募金会の取り組み



～ 支える人を支える「活動支援金」、ボラサポ ～

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」（ボラサポ）は、風水害や地震等による被害を受けた被災地において、被災された方々への支援を行うボランティアグループやNPOを応援するための活動支援金です。ボラサポは、そうした支援に対して寄付者の皆さまからお預かりしたご寄付とその想いを活動団体につなぎ、被災された方々に寄り添い支えています。

令和3（2021）年度は、令和3年7月豪雨、8月豪雨、令和4年3月福島県沖地震の3災害における支援に対して助成を行いました。また、平時の取り組みとして、発災時の対応能力を高め、迅速なボランティア活動の体制づくりにつなげていけるよう、災害時のボランティア活動にかかる資機材等の整備やそれを活用するためのネットワーク構築を行うことにより、各都道府県・指定都市域における効果的かつ持続可能な支援活動を面的に広げることを目的とした助成を行いました。



「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」運営委員・審査委員（敬称略）

■運営委員

委員長	山崎美貴子	東京ボランティア・市民活動センター 所長
委員	諏訪 徹	日本大学 文理学部 社会福祉学科 教授
委員	長澤恵美子	一般社団法人日本経済団体連合会 SDGs本部 統括主幹
委員	明城 徹也	特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 事務局長
委員	吉田 建治	特定非営利活動法人日本NPOセンター 事務局長
委員	高橋 良太	社会福祉法人全国社会福祉協議会 地域福祉部長 兼 全国ボランティア・市民活動振興センター長
委員	阿部陽一郎	社会福祉法人中央共同募金会 常務理事

■審査委員

委員長	菅 磨志保	関西大学 社会安全学部・大学院 社会安全研究科 准教授
委員	鈴木 昭紀	Yahoo!基金 事務局長
委員	前田 昌宏	日本生活協同組合連合会 組織推進本部 社会・地域活動推進部 地域コミュニティグループ グループマネージャー
委員	高山 和久	東京ボランティア・市民活動センター 副所長
委員	吉野 篤史	社会福祉法人広島県社会福祉協議会 地域福祉課長
委員	青木ユカリ	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター 常務理事・事務局長
委員	青山 織衣	社会福祉法人大阪ボランティア協会

*P22の「READYFOR×ボラサポ 災害支援基金」については、別途独立した運営委員会・審査委員会を設置しており、その委員体制は上記運営委員にREADYFOR株式会社・米良はるか氏が、上記審査委員に同・徳永健人氏が、それぞれ加わる体制となっております。

ボラサポはSDGs推進に寄与します

ボラサポは、災害時の被災者支援活動や平常時の防災・減災に対する活動への支援を通じて、「誰一人取り残さない」持続可能な社会づくりの実現することを目指し、災害時の課題解決に向けて取り組んでいます。



これまでのボラサポによる助成状況

助成総計／15,838件 5,858,528,749円

2022年5月31日現在

災 害 名	募 金 名 (略称)	助 成 件 数	助成決定額 (円)
東日本大震災 (2011年)	ボラサポ	9,876	4,179,310,000
	ボラサポ2・住民支え合い活動助成	4,490	389,123,000
平成28年熊本地震	ボラサポ・九州	266	503,490,000
	ボラサポ・九州 住民支え合い活動助成	460	18,180,000
平成30年大阪府北部地震	大阪府北部地震ボランティア・NPO活動支援金	12	13,571,873
平成30年7月豪雨	ボラサポ・豪雨災害	256	259,370,000
平成30年台風21号	ボラサポ・台風21号災害	59	52,067,876
平成30年北海道胆振東部地震	ボラサポ・北海道	32	49,946,000
令和元年山形沖地震	(募金募集は行わず)	6	1,110,000
令和元年8月大雨災害	災害ボラサポ・8月九州豪雨	38	14,810,000
令和元年台風15号	災害ボラサポ・台風15号	30	12,960,000
令和元年台風19号	災害ボラサポ・台風19号	185	235,840,000
令和2年7月豪雨	ボラサポ・令和2年7月豪雨	72	98,850,000
令和3年2月福島県沖地震	ボラサポ・福島県沖地震	9	3,310,000
令和3年7月豪雨	ボラサポ・令和3年7月豪雨	7	2,570,000
令和3年8月豪雨	ボラサポ・令和3年8月豪雨	26	8,730,000
	READYFOR×ボラサポ令和3年8月豪雨災害	5	10,850,000
令和4年3月福島県沖地震	ボラサポ・令和4年3月福島県沖地震災害	9	4,440,000

「災害時のボランティア活動資機材ネットワーク」助成の実施

今後発生が予測されている南海トラフ地震や首都直下地震のような大地震、複数の都道府県にまたがる広範囲の風水害等の大規模災害が発生した際には、被災者支援を行うボランティア活動の連携が求められます。

そのため、平時から発災時の対応能力を高め、迅速なボランティア活動の体制づくりにつなげていけるよう、様々な立場の人たちの力をあわせ、備える必要があります。

そこで、中央共同募金会では、赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金（ボラサポ）」への寄付を財源として、災害時のボランティア活動にかかる資機材等の整備やそれを活用するためのネットワーク構築を行う事業を支えるため「災害時のボランティア活動資機材ネットワーク助成」を実施しました。

令和4（2022）年度は、5県・1政令指定都市の6団体が行う事業に対して、合計2,750万円の助成を決定しました。

本助成を通じて、被災地における災害ボランティア・NPO活動の環境整備と体制づくりが促進されることを目指しています。

団 体 名	団体所在地
社会福祉法人徳島県社会福祉協議会	徳島県
社会福祉法人山口県社会福祉協議会	山口県
社会福祉法人長崎県社会福祉協議会	長崎県
特定非営利活動法人バルビー	熊本県
社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会	愛知県
社会福祉法人栃木県社会福祉協議会	栃木県

(順不同)

令和3（2021）年度に発生した災害への助成

令和3（2021）年度に発生した、令和3年7月豪雨災害、8月豪雨災害、令和4年3月福島県沖地震の災害を特定した寄付募集を行い、被災地において支援活動を展開する団体への助成を実施しました。

なお、令和4年3月福島県沖地震の助成については、令和3（2021）年度に公募し、令和4（2022）年度に助成決定いたしました。

令和3年7月豪雨

7月1日から大雨により、静岡県、島根県、広島県、鹿児島県の各地で甚大な被害が生じ、特に静岡県では熱海市において土石流が発生したほか、富士市や沼津市など広い範囲で浸水被害が多数発生しました。4県7市で災害ボランティアセンターが開設され、ボランティアグループやNPO等によって、家屋の土砂の搬出や屋根の応急処置、避難所での健康支援など、救援・復旧・復興のための支援活動が行われました。

こうした支援活動を応援するため「ボラサポ令和3年7月豪雨」を実施しました。

■寄付と助成状況

災害名	令和3年7月豪雨
助成事業名	ボラサポ・令和3年7月豪雨助成事業
寄付額	7,348,077円
助成件数	7件
助成決定額	2,570,000円



DRT-JAPAN

令和3年8月豪雨

8月上旬から続いた大雨により、全国各地で河川の氾濫や土石流災害等が発生し甚大な被害が発生しました。また9月5日には長野県茅野市で土石流が発生した影響で河川が氾濫し、家屋が浸水するなど甚大な被害は発生しました。5県10市町で災害ボランティアセンターが開設され、ボランティアグループやNPO等によって、浸水した家屋からの家財道具の搬出や清掃、見守りや相談支援など、緊急救援・復旧支援のための活動が行われました。

こうした支援活動を応援するため「ボラサポ令和3年8月豪雨」を実施しました。

■寄付と助成状況

災害名	令和3年8月豪雨
助成事業名	ボラサポ・令和3年8月豪雨助成事業
寄付額	15,998,047円
助成件数	26件
助成決定額	8,730,000円



兵庫県立大学減災復興政策研究科災害支援チーム

令和4年3月福島県沖地震

令和4年3月16日、福島県沖を震源とするM7.4最大震度6強の地震が発生し、福島県・宮城県を中心に2万戸近くの住家が被害を受けました。2年続けて地震災害に見舞われた地域もあり、ボランティアグループやNPO団体によって屋根瓦へのブルーシート張りなど技術を伴う活動をはじめとし、相談支援など生活再建のための支援活動が展開されました。こうした活動を応援するため「ボラサポ・令和4年3月福島県沖地震」を実施しました。

■寄付と助成状況

災害名	令和4年3月福島県沖地震
助成事業名	ボラサポ・令和4年3月福島県沖地震助成事業
寄付額	1,109,016円（2022年5月末現在）
助成件数	9件
助成決定額	4,440,000円



口ハス南阿蘇たすけあい

令和3（2021）年度ボラサポ収支のご報告

2022年3月31日現在

収入額 548,926,734円

内訳	●寄付金	90,839,923円
	●その他	4,537,314円
	●前年度からの繰越金	453,549,497円

支出額 60,995,799円

内訳	●助成金	53,039,825円
	●事業費	7,955,974円
繰越額		487,930,935円

令和3（2021）年度に発生した災害への助成 ①

団体名 **災害救援レスキューアシスト**活動名 **令和3年7月豪雨による熱海市土石流災害の被災者を守るための技術支援活動**

災害名 令和3年7月豪雨
 助成決定額 35万円
 活動場所・拠点 静岡県熱海市伊豆山地区
 活動期間 2021年7月23日～2021年8月21日
 URL/SNS <https://rescue-assist.net/>



●活動内容

重機を利用した泥出しやがれきの撤去作業、チェーンソーを使った倒木伐採、家屋の補強や床はがしなど、主に建築系の作業を行いました。また活動の間には地元の消防職員へチェーンソーや重機操作の講習会を開催しました。

●活動の成果

被災された方々は突然の大きな災害に途方に暮れていましたが、重機で土砂や瓦礫を撤去し道を確保しながら作業に取り掛かりました。公費での復旧が見込めない方のご依頼で、家の補強など応急処置を行うなどしました。

●寄付者へのメッセージ

いつもご支援をいただきありがとうございます。被災された方々が前を向いて進んでいただけるよう寄り添った活動ができたのは寄付者の皆様のお力添えあってこそです。今後も応援していただけますようお願いいたします。

団体名 **おもやい**活動名 **佐賀豪雨災害の被災者のための住宅復旧支援にかかるコーディネート及び活動**

災害名 令和3年8月豪雨
 助成決定額 36万円
 活動場所・拠点 佐賀県武雄市
 活動期間 2021年9月1日～2021年9月30日
 URL/SNS <https://omoyai.org/>



●活動内容

被災された家屋の補修のための床・壁剥がし等専門家による技術系支援、床下の清掃・カビの除去、室内のカビの除去、罹災判定に応じた支援制度の利用手続コーディネート・建築士と連携しての申請手続サポートを行いました。

●活動の成果

直近2年で2回目の被災となり、多くの方々が落ち込んでいる状況で活動開始しました。家屋の修繕について悩んでおられる方が多くいらっしゃいましたが、前回から継続していた活動でつながりがあったため、寄り添った活動をしました。

●寄付者へのメッセージ

被災された多くの方々に精神的、体力的、経済的な負担が大きいのしかかっている中、ご支援をいただきましてありがとうございます。水災の不安があっても武雄市で生活を続ける方々が前向きに暮らせるよう、これからも活動を続けます。

令和3（2021）年度に発生した災害への助成 ②

団体名 **BIGUP 石巻**

活動名 **令和4年福島沖地震への緊急災害復旧活動**

災害名 令和4年3月福島県沖地震
 助成決定額 50万円
 活動場所・拠点 宮城県角田市、山元町、石巻市
 活動期間 2022年3月16日～2022年4月14日
 URL/SNS <https://www.big-up-ishinomaki.jp/>



●活動内容

被害状況、二次被害（周辺家屋や通行者）の可能性、家族構成、保険加入の有無、公費解体の意向などを考慮しながら調査を開始。割れた瓦の補修、落下した瓦の撤去、必要に応じてブルーシートの敷設作業を行いました。

●活動の成果

専門業者さんが入るまで家屋を維持するために、屋根瓦はとても重要です。雨漏りで家屋内部まで浸水すると修繕費用が膨大になるため1日も早く対応することが求められます。家を守るための活動が出来たと思います。

●寄付者へのメッセージ

ボラサポへご寄付をいただいている皆様いつもありがとうございます！「出来ることを出来る人が出来る時に」が大切です。ご寄付をいただくことで支援団体の初動レスポンスが向上します。とても大きな力になっています。ありがとうございました。

「READYFOR × ボラサポ 災害支援基金」

令和3年8月豪雨災害助成事業

災害名 令和3年8月豪雨災害
 助成事業名 「READYFOR × ボラサポ 災害支援基金」 令和3年8月豪雨災害助成事業
 寄付額 11,296,672円
 助成件数 5件
 助成決定額 10,850,000円

本会では被災者支援活動の活性化と災害時における支援金への寄付拡大のため、READYFOR株式会社と連携し2021年4月より「READYFOR×ボラサポ災害支援基金」をボラサポにおけるプログラムの一つとして立ち上げ、当プログラムによって活動する災害支援を専門とした団体として8法人を登録しておりました。

令和3年8月豪雨災害においては、発災後ただちに寄付募集を開始すると共に活動を実施した5法人を対象とした二次審査（助成審査）を実施。発災後20日目までに助成決定したうえで一次送金を行い、発災直後に展開される活動を支援しました。

【助成決定団体】

団体名	活動名	助成決定額 (万円)
一般社団法人OPEN JAPAN	被災地における被災者とコミュニティのための緊急救援活動	300
一般社団法人 ピースポート災害支援センター	避難所運営における課題把握と生活環境改善、およびNPO支援の連携調整事業	300
特定非営利活動法人 レスキューストックヤード	佐賀県における避難所運営等に関する支援	64
特定非営利活動法人 災害救援レスキューアシスト	令和3年8月豪雨における佐賀を中心とした技術的支援活動	300
特定非営利活動法人リエラ	佐賀県武雄市緊急支援活動	121



災害救援レスキューアシスト



ピースポート災害支援センター

「ボラサポ～住民支え合い活動助成」のご紹介

災害発災から一定の期間を経過した復興期にある被災地において、長期的な観点から、住民自らの支え合いで新たな地域づくりを進める活動を支援するため、中央共同募金会ではボラサポによる「住民支え合い活動助成」を実施しています。

住民支え合い活動助成は、主として被災した都道府県共同募金会により実施されています。

●東日本大震災の被災地における「被災地住民支え合いサポート募金（ボラサポ2）」

「被災地住民支え合いサポート募金（ボラサポ2）」は、東日本大震災の被災地（岩手県・宮城県・福島県）における住民同士の支え合いづくりや被災地の復興に向けてさまざまな人のつながり、地域のコミュニティづくりの活動を支援する助成を継続して行っています。

※東日本大震災の被災地における「被災地住民支え合いサポート募金（ボラサポ2）」による助成件数と金額（令和3年度）

	助成件数	助成額
岩手県	19件	3,888,000円
宮城県	263件	12,928,000円
福島県	96件	8,584,000円

●熊本地震の被災地における「ボラサポ九州・住民支え合い活動助成」

「ボラサポ・九州」住民支え合い助成は、熊本地震の被災した地域の住民の方が中心となって、地域に密着したさまざまな人のつながりづくりや、被災地域のコミュニティ再興のための見守り活動や情報交換や交流の場づくりを資金面で支えるため、被災地における地元住民のグループ等による助け合い活動を支援するための助成です。

※熊本地震の被災地における「被災地住民支え合いサポート募金（ボラサポ九州）」による助成件数と金額（令和3年度）

	助成件数	助成額
熊本県	230件	16,056,000円

◆住民支え合い活動助成 助成事例

団体名 復興支援センター「うきのわ」（熊本県宇城市）
事業名 住民同士の交流・復興祭

熊本地震から6年が経過しました。

被災された方々は復興住宅には移り住んだものの、新しい環境に馴染めず、コロナ禍ということもあり、住民同士の交流の機会がほとんどない状況です。家に閉じこもり、孤立している人たちも多数います。

今回、住民同士の交流の機会になればと復興祭を企画し、餅つき大会を行いました。つきたてのお餅をほおばりながら、住民同士の楽しい交流の時間を過ごすことができました。

復興の進み具合は地域によってばらつきがあり、今だに家屋がそのままの状態、復興には時間がかかる地域もあります。これからも被災された方々が自分の想いを自由に話せる機会や、安心して過ごすことができる居場所を作っていきたいと思います。



災害時の企業・団体等の協力事例

「災害ボランティア・NPO活動サポート募金（ボラサポ）」は、特定の災害時以外にも、常時ご寄付を受け付けています。個人寄付のほか、企業・団体等からの法人寄付・社員募金、店頭募金やイベント募金、寄付つき商品、製品の提供等さまざまな形でご協力をいただいています。一部をご紹介します。

株主優待寄付や社員のポイント寄付等、多様な形での支援

日本たばこ産業株式会社

日本たばこ産業株式会社では、株主優待商品に代えて、災害復興支援として、ボラサポへの寄付を株主が選択できる取り組みを行っています。また、2021年からは新たに、社員の福利厚生のためのポイントを、ボラサポへ寄付できる取り組みもスタートしました。

これまで、「社員WEB募金箱」*を活用した社員寄付の実施や、コロナ関連支援のマッチング寄付とあわせて助成先へ食品も寄贈いただくなど、多様な形でご支援いただいています。



東日本大震災や熊本地震の被災地を息長く支援

三井不動産商業マネジメント株式会社

三井不動産商業マネジメント株式会社からは、2012年より継続して、被災地支援のためにご寄付いただいています。共同募金を通じて東日本大震災の被災3県（岩手県、宮城県、福島県）へ息長くご支援いただいているほか、ボラサポ九州およびボラサポ全般へもご支援いただきました。

同社は、ららぽーとをはじめ「リージョナル型ショッピングセンター」「アウトレットモール」「ライフスタイルパーク」「都心型商業施設／公園一体型商業施設」等の商業施設を運営しており、社会貢献活動の一環として、継続してご協力いただいています。



グループ社員による社会貢献ファンドで災害時支援

SOMPOグループ

SOMPOグループでは、企業として積極的に社会貢献活動に取り組むとともに、社員が自主的に社会貢献活動に参画できる制度を整えています。役職員によるボランティア組織「SOMPOちきゅう倶楽部」では、全国各地でボランティア活動を行うほか、有志の寄付からなる社会貢献ファンドによって被災地の支援等を行っています。

ボラサポへ継続してご寄付いただいているほか、特に大規模な災害時には、加えて「社員WEB募金箱」*を活用するスキームも創っていただきました。



※「社員WEB募金箱」とは？

中央共同募金会では、共同募金会が直接運営する募金について、一般のネット募金とは別途に、企業ごとに個別の「社員WEB募金箱」を開設しています。社員の皆様にWEB募金箱のURLをお知らせいただくだけで、社内募金の告知や取りまとめが可能となるため、従来の社員募金に比べてCSR担当者のご負担が減り、2019年10月スタート以来多くの企業にご活用いただいています。開設費用は無料です。

詳細は、中央共同募金会・基金事業部 kikin@c.akaihane.or.jp（社員WEB募金箱担当）へお問い合わせください。

「災害ボランティア・NPO活動サポート募金（ボラサポ）」等へのご支援ご協力企業・団体例【令和3（2021）年度受付分】

（五十音順・敬称略）

【「ボラサポ・令和3年2月福島県沖地震／令和3年7月豪雨／令和3年8月豪雨／令和4年3月福島県沖地震」へのご支援】

一般財団法人 上田記念財団

経団連1%クラブ

ソフトバンク株式会社／ソフトバンクグループ株式会社／
「つながる募金」にご協力いただいた皆さま

SOMPOちきゅう倶楽部

Daigasグループ“小さな灯”運動（大阪ガス株式会社）

辻・本郷税理士法人

株式会社ディ・エム・シー

電通グループ

東京海上グループ社員・代理店有志の皆さま

日本医療福祉生活協同組合連合会

日本生活協同組合連合会

福岡ソフトバンクホークス株式会社／
福岡ソフトバンクホークス選手会

芙蓉総合リース株式会社

株式会社LAVA International

三井住友信託銀行株式会社

ヤフー株式会社「Yahoo!ネット募金」にご協力いただいた
皆さま

【「ボラサポ・九州」（熊本地震）へのご支援】

Daigasグループ“小さな灯”運動（大阪ガス株式会社）

三菱ケミカル・クリンスイ株式会社

【「ボラサポ2」（東日本大震災）へのご支援】

ソフトバンク株式会社／ソフトバンクグループ株式会社

Daigasグループ“小さな灯”運動（大阪ガス株式会社）

電通グループ

NTTドコモグループ 災害復興等応援社員募金

野村グループ

株式会社野村総合研究所

ヤフー株式会社「Yahoo!ネット募金」にご協力いただいた
皆さま

【その他災害支援へのご寄付】

デロイト トーマツ グループ ※東日本大震災 震災遺児修学資金

【「ボラサポ」全般へのご寄付】

株式会社オフィスNJ

大阪ガスともしびクラブ（大阪ガス株式会社）

エドワーズライフサイエンス株式会社

株式会社大林組／社員有志の皆さま

花王株式会社

株式会社SynaBiz

J-Coin Pay「ぼちっと募金」（株式会社みずほ銀行）

ジャパングルフツアー選手会

ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ

日本たばこ産業株式会社

株式会社日本テレビサービス

野村グループ

株式会社バーニーズ ジャパン

ブックオフコーポレーション株式会社（キモチと。）

株式会社八木熊

マツダ株式会社

三井ダイレクト損害保険株式会社

三井不動産商業マネジメント株式会社

リコーイメージング株式会社

このほか多くの企業・団体の皆さまにご支援・ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

※ご寄付の際に寄付申込書をご提出いただくなど、本会よりご連絡が可能であった企業・団体のうち、ご承諾いただいた場合のみ名称を掲載しております。また、掲載にあたっては基準を設けさせていただきました。